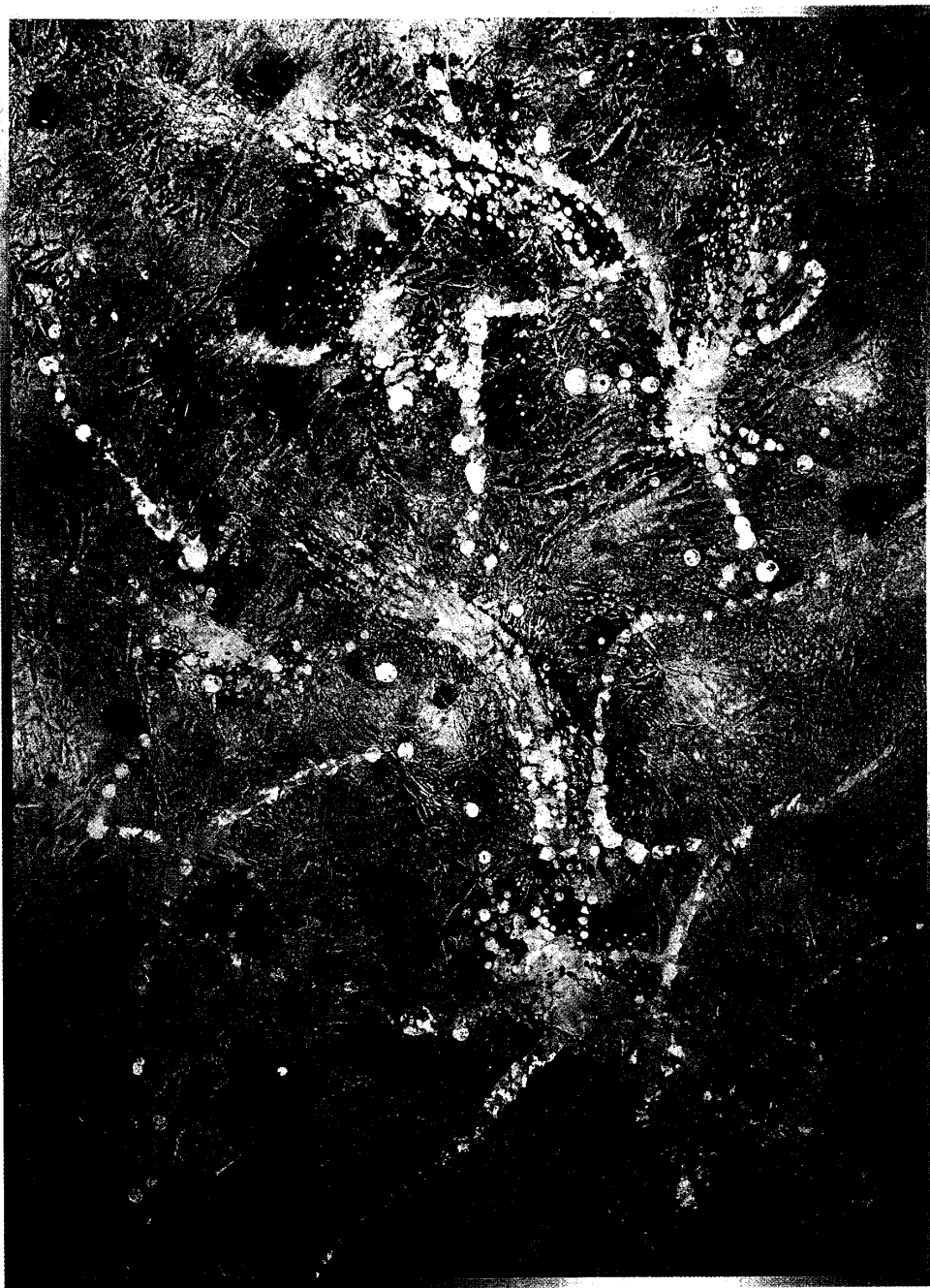


眼を閉じて

Les yeux clos

林 亨

HAYASHI, Toru



眼を閉じて Les yeux clos [yume]
和紙・木製パネル・ミクストメディア
118cm×86cm 2003年

独り言一隠された道への森について（1）

◎「これは何を描いたのですか？」という問いに対して、「これとって決まったモデルやモチーフはないけれど・・・」と前置きしながら、時々、次のように答えている。「落ち葉が何層も積もっている鬱蒼とした森の中に一人いる時に、突然降ってきた雨が体の中にしみていくような感覚かな・・・」いずれも自分の具体的な視覚体験から派生した空想的な風景を伝えようとしたものであるが、実際はこれらを再現しようとして作品をつくっているわけではない。具体的な動機というものは、もっと日常的な諸々の感覚の蓄積である。

◎美術のモダニズム化の代表的な考え方に、フォーマリズム的思考、つまり、芸術的表現内容に対して表現形式を重視し、形式的要素から作品を解釈しようとする美術的傾向があるが、その一つの帰結としてミニマリズムというものがあるとすれば、何度目かわからないが、そこにはやはり「絵画の死」があったと考えられている。しかしながら、「絵画の死」の本当の意味とは？

◎ドリッピングやタシズム、ステイニングというものが「絵画技法」となってしまうような概念化は、ある意味「絵画の死」を端的に象徴していたのかもしれないが、実際にそれらを「使用」している私の作品は死んだ絵画か？